



Contents

6月定例会審議議案	P2・3
一般質問	P3~8
要望活動	P9
みなさんからの請願・陳情	P9
政務活動費	P11
市民からの投稿	P12

※「ほっとだて」のロゴデザインは、保原高校美術部の生徒さんが作成しました。



亀岡神社の新しい鳥居（霊山町掛田）

亀岡神社は984年、修験僧の舟思大僧正尊海が、豊前国宇佐八幡宮の御分霊を奉還し祭ったのが創祀とされています。鎮座地の丘の形が亀の形に似ていることから、亀岡八幡宮と称したそうです。1185年頃、源義経が祈願に立ち寄り、佐藤継信・忠信に命じて社殿を造営したと伝えられています。伊達氏がこの地を領しましたが、当社を崇敬し仙台へ移った後も、御分霊を遷し奉祀したといわれています。新しい鳥居は、市道拡幅のため、1835年に設置されたこれまでの鳥居を復元し、総檜で新たに建立されました。

6月定例会

平成28年第4回伊達市議会定例会は6月9日に招集され、6月28日までの20日間の会期で開催されました。市長から提案された案件は、報告4件、人事2件、条例の制定1件、条例の一部改正3件、補正予算2件、その他1件の計13件でした。これらの案件は、人事案件など一部を除き所管の委員会に付託して審査の後、本会議で採決した結果、原案のとおり可決、同意しました。

また、委員会より提出した意見書2件についても可決しました。

■条例

○伊達市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の制定

地域再生法の認定を受け、地域再生計画に定められた地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関し、必要な事項を定めました。

○伊達市税特別措置条例等の一部改正

国の省令等の一部改正に伴い、復興産業集積区域における固定資産税課税免除の適用期限を延長するため、改正しました。

○伊達市国民健康保険税条例の一部改正

地方税法等の一部改正に伴い、国民健康保険税の基礎課税額に係る課税限度額の引き上げ、軽減判定所得の算定金額の

引き上げ等を行うため、改正しました。

○伊達市立学校設置条例の一部改正

児童及び学級数が減少している複式学級のある梁川地域の小規模小学校について、平成29年4月1日より梁川小学校に統合するため、改正しました。

■補正予算

○平成28年度伊達市一般会計補正予算(第1号)

1億2519万6千円を増額し、予算総額を334億6319万6千円としました。

歳入の主なものは、地方スポーツ振興費補助金等の国庫支出金4077万9千円、除染対策事業交付金等の県支出金4454万6千円、財政調整基金の繰入金3982万6千円を増額

歳入の主なものは、放射能対策事業として、中間貯蔵施設への搬出に要する費用として除染

対策事業3300万円、伊達な出向く事業や伊達なアニメツーリズム事業を実施する観光物産

復興支援事業618万2千円を増額しました。

その他の事業では、健康ポイントプロジェクト事業経費として健康都市推進事業2698万2千円、自治体情報セキュリティクラウドへの接続等に要する費用としてネットワークシステム管理事業1664万6千

円、児童扶養手当法等の制度改正に対応するシステム改修費用として住民情報システム管理事業739万8千円、歴史アニメ「政宗デジタル」を活用した

情報発信事業により誘客を図る

観光誘客促進事業520万7千円などを増額しました。

○平成28年度伊達市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

9944万2千円を増額し、予算総額を83億1921万4千円としました。

歳入においては、国・県支出金、その他交付金等の歳入見込額が確定したことにより、国民

健康保険税の減額、繰越金を増額し、歳出においては、システム改修に伴う総務費の増額、保険給付費の減額、支援金、納付

金及び拠出金等の額確定による補正を行いました。

■その他

○工事請負契約の締結

指名競争入札による、上保原小学校耐震補強・大規模改修建築主体工事の請負契約締結につ

契約相手方

株式会社松浦建工所
契約金額
2億9160万円



耐震補強・改修を行う上保原小学校
工期は平成30年1月31日まで

■人事

任期満了に伴う、2財産区管理会委員の選任に同意しました。

○伊達市大字掛田財産区管理会
委員の選任同意

岡崎 勝弘さん
大橋 亮治さん
安田 博壽さん
引地 秀樹さん
高野 栄喜さん
渡邊 賢典さん
岡崎 和典さん

○伊達市大石財産区管理会委員
の選任同意

大橋 庄信さん
大橋 清美さん
大橋 喜一さん
大友 利男さん
菅野 保男さん
齋藤 安夫さん
大橋 了生さん

■委員会発議（意見書）

6月定例会で可決した次の意見書
を関係大臣等に送付しました。

○「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による十分な就学支援を要請する意見書

○拙速なTPPの国会承認に反対し、徹底審議と情報公開を求める意見書

問 一般質問 答

6月定例会

一般質問では10人の議員が登壇し、市政全般について論戦を展開しました。

一般質問議員と質問項目

■ 6月14日登壇

■ 中村 正明 議員

- 1.女性管理職の登用
- 2.危機管理
- 3.あの日、あの時、「語られたこと」

■ 丹治 千代子 議員

- 1.男女共同参画事業
- 2.産前産後子育て支援ヘルパー派遣事業
- 3.認定こども園
- 4.働く女性等応援事業
- 5.子宮頸がんの検診
- 6.官製ワーキングプア

■ 佐藤 清壽 議員

- 1.高カリウム自給飼料に起因するとみられる牛死亡事故
- 2.「徳が森」一帯の大規模山林火災の対応状況
- 3.小学校統廃合に係わる遠距離通学支援

■ 菅野 與志昭 議員

- 1.伊達市合併10年の検証
- 2.仁志田市長3期目マニフェスト

■ 近藤 眞一 議員

- 1.放射能汚染に関わる諸問題
- 2.国民健康保険

■ 6月15日登壇

■ 菊地 邦夫 議員

- 1.地方創生加速化対策事業
- 2.地方創生戦略事業

■ 八巻 善一 議員

- 1.伊達市立小中学校適正規模、適正配置
- 2.生涯活躍のまち（伊達市版CCRC）推進事業

■ 佐々木 彰 議員

- 1.霊山町徳ヶ森地内大規模山林火災の反省と今後の対策
- 2.伊達市の体育施設の充実

■ 菅野 喜明 議員

- 1.都市計画マスタープランなどから見る伊達市の開発
- 2.伊達市のふるさと納税
- 3.梁川の自然、歴史と文化の利活用
- 4.霊山高原構想と第69回全国植樹祭
- 5.伊達市の復興をめぐる諸問題

■ 高橋 一由 議員

- 1.A・Bエリアの再除染とCエリア除染
- 2.市長の政治姿勢
- 3.梁川屋内・屋外運動場整備事業用地

■女性管理職の登用



中村 正明 議員

Q 働く環境の男女差をなくし、女性が活躍できる職場づくり、市の取り組み、今後の方針を伺います。

A 本年4月1日現在、課長以上の管理職72名中、女性課長職10名、13・9%の割合です。平成32年までに20%を目指します。全ての職員が性別に関係なくその個性と能力を最大限発揮できる職場環境づくりに努めてまいります。

危機管理

Q 「天災は忘れたころにやってくる」ということわざがあります。忘れる暇もなく私たちの生活を脅かしております。想定外を想定した災害対策の必要性を強く感じております。より専門的な部署の設立、人材の養成を伺います。

います。

A ご指摘の点については、今後とも考えるべき課題と思います。直ちに新しい部署を設定することについては、現状の中で要員を増強することなどで対応してまいります。

あの日、あの時、語られたこと

Q 復興に向けていち早く取り組んだ除染が、一体どうして期待が失望に変わってしまったのか。2年5カ月前の選挙戦時、仁志田市長は、「Cエリアも除染して復興を加速、市民目線に立ち、市民が安心できる除染を行います。」皆様を指すところにお連れするのが「ライフワーク」とも、選挙用パンフレットに明示されておりました。私たち市民は、CエリアもA、Bエリア同様に除染が進められるものと認識しておりました。なぜ選挙戦時に語られたことが、実行されないのか伺います。

A 選挙に絡んでどうこうという議論ですが、放射能対策は、安全か安心かということであり、全面除染は必要なく、私は全面除染をやるとは言っておらず、今までの施策は非難されるものではありません。

■伊達市の非正規職員数は4割強です！



丹治千代子 議員

Q 日本の労働者の4人に1人が年収200万円以下です。これは民間企業だけではありません。官公庁においても、東京都市墨田区のハローワークの相談員は、非正規が6割、正職員は4割しかいません。伊達市における正職員と非正規職員の人数と賃金を一般職と専門職に分けてお尋ねします。

A 本年4月1日現在、正職員が523人、臨時嘱託職員は375人です。臨時嘱託職員は多様な任用形態をとっており、正職員と同様にフルタイム勤務は123人です。臨時職員は一般事務補助に従事する事で任用しており、月額7100円で、月22日勤務すると15万6200円。嘱託職員は専門的な

業務で、特別支援介助員など資格を有しなくても従事できる人は月額14万8700円、保育士・幼稚園の教諭等は月額16万1700円です。更に、保健士・栄養士等は20万1400円です。賃金については正職員の給与改定、人事院勧告に準じて同様の改定をしています。また、期末手当は支給していませんが、交通費、超過勤務手当は正職員の例に準じて支給しています。

Q 非正規職員の社会保険の有無についてお尋ねします。

A 現在は204人約5割5分が加入しています。本年10月からは加入条件が見直されて、月額8万8000円以上、週労働時間が20時間以上、更に、1年以上継続して雇用される場合には加入が義務付けられることとなります。これに基づいて試算すると、9割を超える加入率になります。

Q 非正規職員の賃金引き上げと労働条件改善の具体策をお尋ねします。

A 賃金は正職員の給与改定に合わせて見直し、福利厚生面でも改善に努めてまいります。

■高カリ牧草に起因する牛死亡事故を問う



佐藤 清壽 議員

Q 県は放射性物質吸収抑制対策として牧草地への塩化カリ施肥を推進した結果、カリ過剰の牧草給餌により、低マグネシウム血症になり牛が死亡する事故が起きている可能性があるが、県北家畜保健衛生所から報告がされています。市における同事故の把握はできていたのかを伺います。

A 伊達市においては把握していませんでした。後の調査で、該当する可能性のある牛の死亡事故を2件確認、平成27年11頭、平成28年3頭死亡の間取りをしました。カリ過剰かの確認はできていません。

Q 牧草の成分分析調査が必要であり、潜在的にあると思われる牛の低マグネシウム血症群の存在が危惧されるが、調査する考えを伺います。

A 今後、伊達農業普及所、県北家畜保健衛生所などの専門機関と相談、指導を受け、調査対応の検討をしてまいりたいと考えています。

Q 県と連携して、早期に対策支援を進めてほしいし、牧草圃場回復の対応を伺います。

A 牧草地の調査方法、圃場回復方法を含めて専門的な見地から総合的な取り組みが必要で、今後専門機関からの対策の必要性、指導を受けながら畜産農家の対応を検討したいと思えます。

「徳が森」大規模山林火災の対応状況

Q 鎮火まで3日間、38・2haの焼失面積、徳が森火災現場の消防団への飲料水、食糧の供給対応について伺います。

A 現地対策本部から実際の消防団員などへの供給の指示、運搬に遅れが生じ、今回の反省点と捉えています。

Q 避難所開設と同時に職員を配置して、避難住民への支援をすべきと思うが考えを伺います。

A 今後、避難者が安心して暮らすように避難所開設職員と運営職員の円滑な引継ぎ等を行います。

■「伊達市合併10年の検証」について



菅野與志昭 議員

Q 合併より10年をふりかえり5町合併の検証を伺います。

A 伊達市の合併は5つの町それぞれの個性を生かしながら大同団結をし、各総合支所を置き出し、各総合支所を置き出し、今後効率化、財政健全化を進め、また、これからの10年に向けた新たな出発をすべきと考えます。

伊達市の次の10年を考える

Q 少子高齢社会への対応等について伺います。

A 高齢化社会に対しては「健康都市」の推進と建設、各町旧来よりの延長線上をさらに強化して進めていきます。また、

地域創生計画を進める中で何とか人口減少を少なくし、若者、アクティブシニア(※)などの誘導策を図る取り組みが必要と考えます。



仁志田市長

3期目マニフェスト

Q 6つの柱、30の実行の検証について伺います。

A 「マニフェスト」を掲げて市長になることが行政になじんできており、マニフェストを見て具体的な施策を推進しているところであり、評価は状況等の変化もありません。評価はマニフェストの中のものですが、実現できないものもあれば、実現できているものもあれば、実現できなかったということも事実的に行なっておりますが、第三者委員会などによる評価大会などを行なうかどうかについては、必ずしも積極的ではありません。

※【アクティブシニア】趣味等の活動に意欲的な元気なシニア層

■放射能汚染に関わる諸問題について問う



近藤 眞一 議員

Q 原発事故から5年が過ぎ、空間線量毎時0・23マイクロシーベルトを下回る所も多くなつたが、伊達市除染実施計画の目標を考慮すれば、Cエリアの面的・局所的な除染はまだ必要で実施すべきと考えるが、見解を問う。

A 年間1ミリシーベルトを目指していることに変わりはない。個人線量計などを活用し、その目標に向かって行っているということ、ご理解いただきたい。

Q 6月6日公表の県民健康調査で子ども30人で、伊達市の子ども7人も含まれている。ヨウ素・セシウム等の放射性物質が、非常に多く伊達市に降り注いだ証明である。それ

故に、フォローアップ除染ではなく、空間線量毎時0・23マイクロシーベルトを超えている所は、面的・局所的なCエリア除染を実施すべきと考えるが、見解を問う。

A 子どもの甲状腺がんとセシウムは特に関係ないと認識しており、健康管理も含め、年間1ミリシーベルトを目標として取り組んでいる。

Q 環境省の除染等の措置に係るガイドラインのホットスポットの定義は、放射性物質が濃集しやすい窪みや水たまり等とされている。地表面1cmで3マイクロシーベルト以上というホットスポット基準ではなく、本来の空間線量毎時0・23マイクロシーベルトを超える場所は除染するべきである。リスクコミュニケーション(※)も、0・23マイクロシーベルトを超えた所を除染したことが前提になる。東京電力に事故の責任をきちんと取らせるといふ観点からも、ホットスポット除染基準を変え、Cエリア除染を実施すべきと考えるが、見解を問う。

A 現在のところ、ホットスポットの基準を変えるという事は考えておりません。

※【リスクコミュニケーション】 情報を共有してリスクの低減に取り組むこと

■地方創生加速化事業への取り組みは！



菊地 邦夫 議員

Q 生涯活躍のまち(伊達市版CCRC)(※)の推進事業、新たなまちづくりの概要について伺います。

A 生涯活躍のまち推進事業につきましては、継続的なケアつき退職者コミュニティを伊達市に整備し、首都圏等のアクティブシニアに移住してもらい、町のにぎわいを創出しながら、関係する事業も実施することによって雇用を創出するといった総合的な事業として行うことを考えています。

Q まちづくり会社について

A 地域創生戦略事業、産官民連携まちづくり会社の設立事業の概要について伺います。

A 伊達市では、中心市街地の魅力の向上を図り、まちなかの賑わいを創出するといった方向で設立を検討しており、地方創生の考え方の原則に基づき、しっかり収益を伴って将来にわたって自立運営ができるという事を軸に、住民のニーズに沿って、作っていきたいと考えております。さらに株式会社とし、市からの出資と民間主導で関係の商工会、商業関係者、さらに地域の住民の方からも出資を募ってまいりたいと思っております。あとは実現可能性も見ながらクラウドファンディング(※)等からも資金を集める方法も模索しながら、可能な限りお金を集められるように考えていきたいと思っております。

Q 今回のまちづくり会社

A 今回のまちづくり会社の設立が、なぜ旧伊達町なのか、今後他の町にも設立するのか伺います。

A 必要があれば検討しますが、旧伊達町以外には振興公社が設立されており、特に伊達地区には具体的に取組むべき課題が多く、まちおこしに取り組み必要があると考えています。

※【CCRC】 Continuing Care Retirement Community の略。継続的なケアつき退職者の共同体

※【クラウドファンディング】 インターネットを介して投資などにより資金を調達する仕組み

■伊達市立小中学校適正規模、適正配置について



八巻 善一 議員

Q 昨年1月、文科省から小中学校適正規模、適正配置について各自治体に通達があり、伊達市教育委員会からは昨年11月より梁川地域白根、山舟生、富野、五十沢、大枝各小学校の保護者に3回程度、自治組織には2、3回説明がありました。本年5月初めまでわずか6カ月の間に統合の合意に至った経緯について伺います。

A 梁川地域については昨年10月からPTAに15回、自治組織に10回説明会を実施、PTAにおいて平成29年4月の統合を望む組織もあり、その後自治組織においてもPTAの意向などを尊重しながら統合の合意を得てきたところであります。

■生涯活躍のまち(伊達市版CRC)推進事業について

Q 日本版CRC構想は、東京圏をはじめとする高齢者が、自ら希望に応じて地方に移り住み、地域社会において健康でアクティブな生活を送るとともに、医療、介護が必要な時には継続的なケアを受けられることができるような地域づくりを目指すものでありますが、伊達市版のCRCの方策について伺います。

A 本年度は基本的構想の策定を目指しており、伊達市の特徴をしっかりと出して他にないものができるかについて有識者の意見、市民のワークショップを通して考えていききたいと思えます。

Q 空き家対策について伺います。

A 件数は、1戸建てが808戸、住むのに支障がないのが267戸、空き家バンクの申込が18件、これらの情報を基に、全国へホームページ上から発信していきたくと考えています。

空き家バンクに登録された物件に対して、改修補助制度として1件当たり50万円を限度として3件分予算化しています。

■これからの保原総合公園

Q 伊達市では、保原総合公園の6haの拡張事業が進められています。今年度、進められている事業は用地買収、実施設計、造成工事が予算計上されています。現在の進捗状況と多目的広場は具体的にどのような運動施設として考えているのか伺います。

A 保原総合公園の拡張整備事業では駐車場、多目的広場、イベント広場等の整備を計画して現在設計を進めています。今回の拡張区域については、臨時駐車場と兼用で整備を計画している多目的広場があります。ここについては、既存の多目的グラウンドで使用を制限しているサッカー競技のようなものができる仕様で整備を検討しています。



佐々木 彰 議員

います。



Q サッカー競技ということはスパイクを使用するのでしょうか。またサッカーゴールやラグビーのゴールポストの設置も併せて考えているのか伺います。

A 今まで使用を制限していたスパイク等を使用するサッカーやラグビーなどの競技ができる仕様で整備を検討しています。人工芝やクレーンなど経費の面を考慮し検討をしています。また、サッカーのゴールやラグビーのゴールポストについての具体的な検討はまだしておりません。現在進めている設計が来年2月までの工期で進められており、これから検討してまいります。

■復興はまだ終わっていない！

A リスクについては、1人ひとりの気持ちが違うと感じています。限界はあるのですが、

Q 小国地区では、農家の女性が除染されない田で米を作る悲哀を訴えたり、子どもたちは沼で魚釣りができず、放射能が降る前の元の生活に戻っていません。1人ひとりの安心・安全な気持ちは違うと思いますが、他の自治体では道路の両側、山、ため池も除染します。この状況で嫌なら出て行けとか、我慢しろと言うわけにはいきません。市では住民の意見や気持ちに配慮したリスクコミュニケーションを行っていませんか？元の環境に戻す施策をぜひやっていただきたいです。

除染やリスク コミュニケーションは？



菅野 喜明 議員

1人ひとりの気持ちに寄り添っていききたいとの考えはありません。全部は無理でも改善はしていきたいと思います。

ふるさと納税の実績と 今後の具体的な取組みは？

Q 3月議会において、前向きに取り組むとの答弁をいただきました。今年度4月からの実績と具体的な取組みについて伺います。

A 4月からの前年度との比較ですが、5月31日現在で、納税者の件数は5.9%、納税額では31.6%減少しております。具体的な取組みとしては、9月からのクレジットカード決済の導入と、来年1月から返礼品の大幅見直しを行う予定です。

道の駅の活性化に 観光農園を！

Q 道の駅による地域振興のために、観光農園を設置してはどうかとの意見があります。市の考えを伺います。

A 観光農園を始めるのは良いことだとは思いますが、具体的なお話があれば、どういった支援ができるのかも含めて検討していきたいと思えます。

■ABエリアの再除染、Cエリアの除染は



高橋 一由 議員

Q ABエリアは、生活圏でも放射線量が高いところがまだまだ存在するため、きちんとモニタリングをしながら再除染を実施すべきと考えます。また、議会は市長に対しCエリアの除染について申し入れを行い、本年2月、回答がありました。住宅除染を希望した世帯の対応を優先して実施して欲しいという申し入れに対し、ホットスポット除染での対応を説明しているとの回答でした。除染をせず説明にとどめた根拠について伺います。

A 除染実施計画に基づき、ホットスポット除染を実施し、それでも不安な方には、科学的根拠等を説明しフォローアップ除染で対応しました。

Q アンケートで除染を希望したにもかかわらず、説明のみで終了するのであれば、なぜアンケートを実施したのか。その目的を伺います。

A ホットスポット除染を実施しましたが、それでも心配という声があり、どのような部分で不安か把握するため実施しました。

Q 市は、回答がなかった7割の方についても理解していただいていると判断していますが、その根拠について伺います。

A ホットスポット除染を実施して良かったという方が多く、それでも不安な方々がアンケートに回答されたというところで、それ以外の方からは理解が得られたと判断しました。理解している方が多い

Q とすれば、なぜ除染を要望する請願や陳情が地区の会長さん達から出るのでしょうか。これに対し、市長はどのように考え、判断をするのか伺います。

A 議会の趣旨採択を尊重し、市民が納得できるように対処しなければならぬと思っております。

国への要望活動

福島市・米沢市・相馬市・伊達市で構成される議会連絡協議会



福島河川国道事務所長に要望内容の補足説明をしている安藤喜昭議長

議会報告会を開催

伊達市議会では、議会基本条例に基づき、議会と市民の双方向の意見交換の場として毎年議会報告会を開催しています。

平成28年度は、前期と後期の2回に分けて市内22カ所で開催することとし、前期は7月21日、22日に10カ所で開催しました。

詳しい内容については、次号議会だより「議会報告会特集」に掲載します。



7月22日 霊山町小国地区

は、去る7月26日に東北中央自動車道(相馬〜伊達〜福島〜米沢間)の整備促進について、国土交通省福島河川国道事務所、磐城国道事務所へ要望活動を行いました。

要望内容

①「福島〜米沢〜米沢北間」の早期開通を図ること

②復興支援道路に位置づけられた「相馬〜福島間」については、「相馬西道路・阿武隈東道路・阿武隈東〜阿武隈間・霊山道路」の開通目標に向けて一層の整備促進を図るとともに、平成25年度に事業化された「霊山〜福島間」を含めた全線の早期開通に向け整備促進を図ること。

③地域の暮らしを守り活性化を図る道路予算を確保すること。

みなさんからの請願・陳情

6月定例会で受理したのは、請願3件、陳情2件の合計5件でした。
所管の委員会に付託して審査し、委員長が本会議に審査結果を報告、採決の結果、次のとおり決まりました。

受理番号	請願件名	請願者	採決の結果
第6号	保原町上保原字流町地内、市道側溝の改修に関する請願書	代表者 流町町内会長 圓山 伝一 外15名	採 択 (産業建設常任委員会)
第7号	「拙速なTPPの国会承認に反対し、徹底審議と情報公開を求める意見書」の提出を求める請願書	社会民主党伊達総支部 代表 清野 辰夫	採 択 (産業建設常任委員会)
第8号	「原子力発電所の運転停止を求める意見書」の提出を求める請願書	社会民主党伊達総支部 代表 清野 辰夫	趣旨採択 (総務生活常任委員会)
受理番号	陳情件名	陳情者	採決の結果
第4号	国からの「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による十分な就学支援を要請する意見書の提出を求める陳情書	福島県教職員組合 中央執行委員長 角田 政志 外1名	採 択 (文教福祉常任委員会)
第5号	避難者支援に係る補助金不正受給等が報道されている団体、一般社団法人FLIPに対する公金支出の即時停止を求める陳情	新潟県新潟市 鈴木 公成	継続審査 (総務生活常任委員会)

請願・陳情について

請願とは、憲法等に保障された「請願権」の趣旨に従い、公の機関に対して要望や意見を述べることで、議員の紹介により提出することができます。

陳情とは、実情を訴え、適切な措置を要望するもので、議員の紹介なしで提出することができます。

請願の取り扱い

議会に提出された請願は、内容により所管する常任委員会で審査され、本会議において採択・不採択を決定します。

審査結果は、提出者（複数の場合は代表者）あてに通知します。

請願書の出し方

請願書は、邦文により、文書で市議会議長あてに提出してください。記載していただく事項は次のとおりです。

1. 提出年月日
2. 請願書の住所
3. 請願者の団体名（※個人の場合は必要はありません）
4. 請願者の職・氏名（※押印が必要です）
5. 連絡先（※日中連絡が取れる電話番号と担当者名）
6. 紹介議員の署名または記入押印（※請願書の場合のみ）
7. 件名
8. 請願の趣旨

※土木事業関係などの請願（陳情）の際は、略図を添付してください。

平成 年 月 日

伊達市議会
議長 〈議長名〉〇〇〇〇 様

住 所 〈団体または個人の住所〉
団体名 〈名称 ※個人の場合は不要〉
氏 名 〈代表者の職・氏名または個人氏名〉
連絡先 〈日中連絡の取れる電話番号・担当者名〉

紹介議員 〈1人以上、署名または記名押印〉

〈 件 名 〉〇〇〇〇〇〇〇〇に関する請願書
(請願の趣旨)
.....
.....
.....
.....を求め、請願いたします。

(注意) 請願は原則として3、6、9、12月の年4回開催される市議会定例会で審査されますが、受付には締切がありますので、詳しくは議会事務局（電話024-575-1217）にお問い合わせください。

受付締切後に提出された請願は、次回の定例会で審査されます。

なお、受付は、平日の執務時間中に伊達市役所3階の議会事務局で常時行っています。

陳情の取り扱い

陳情の取り扱いは原則として請願に準じますが、審査を行うかは議会運営委員会で決定します。

陳情書の書き方および提出方法は、請願書と同様です。

議決結果	賛成・反対	無党派		共産		チーム志民			創志会			志政クラブ				「ぎょうめい」		フォーラム伊達		会派名 議員名	議案等					
		半澤 隆	中村 正明	丹治千代子	佐藤 清壽	近藤 眞一	菅野與志昭	佐藤 実	菊地 邦夫	佐々木 彰	大和田俊一郎	橘 典雄	大橋 良一	松本 善平	原田 建夫	清野 公治	熊田 昭次	小野 誠滋	八巻 善一			高橋 一由	菅野 喜明	滝澤 福吉	吉田 一政	大條 一郎
賛成17・反対6		○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	賛成○ 反対●	「原子力発電所の運転停止を求める意見書」の 提出を求める請願書 請願第8号

※議長（安藤喜昭）は採決に加わらない
※会派名の省略 共産↓日本共産党伊達市議団

※これ以外の案件等は全会一致で可決されています。

6月定例会賛否一覽表

議会を傍聴してみませんか

○次の定例会は、9月1日（木）午前10時に召集される予定です。

○傍聴の際は、傍聴人受付簿にご自身の住所・氏名をご記入いただけます。

※なお、詳しい審議日程は、議会運営委員会で決まります。【議会事務局 024-575-1217】

『公表します 政務活動費』

本市では、議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として、議員一人当たり月額3万円の政務活動費を所属の会派（会派に所属しない場合は議員）に交付しています。

その収支については、毎年度議長に報告し、残額がある場合は、市に返還しています。

平成27年度の会派別の収支状況は次のとおりですが、収支報告書の内容については市議会ホームページにも掲載しています。

また、9月以降、収支報告書の写しは議会図書室で閲覧できますので、議会事務局までお問い合わせ下さい。

平成27年度 政務活動費精算一覧表

(単位：円)

会派名	フォーラム伊達	「きょうめい」	日本共産党伊達市議団	志政クラブ	創志会	チーム志民	無会派	無会派	無会派	無会派		
会派構成	滝澤福吉 吉田一政 (佐藤直毅) 大條一郎	八巻善一 高橋一由 菅野喜明	佐藤清壽 近藤真一	清野公治 大橋良一 松本善平 原田建夫 熊田昭次 小野誠滋	佐々木彰 大和田俊一郎 橋典雄	佐藤実 菅野與志昭 菊地邦夫	丹治千代子	(大條一郎)	半澤隆	安藤喜昭	合計	
収入内訳	交付額	1,050,000	1,080,000	720,000	2,160,000	1,080,000	1,080,000	360,000	180,000	360,000	360,000	8,430,000
	利子	91	62	34	209	71	78	47	23	21	43	679
会派の収入合計		1,050,091	1,080,062	720,034	2,160,209	1,080,071	1,080,078	360,047	180,023	360,021	360,043	8,430,679
支出内訳	研修費	243,728	443,320	128,160	91,140	122,032	381,232	0	0	123,032	0	1,532,644
	調査研究費	10,770	48,842	7,180	749,491	266,306	175,656	0	0	103,680	0	1,361,925
	要請・陳情活動費	0	0	0	17,580	0	0	0	0	0	0	17,580
	会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	6,372	5,940	6,588	6,480	6,264	6,372	0	0	0	0	38,016
	資料購入費	26,642	225,455	0	47,870	35,467	4,900	0	0	12,048	0	352,382
	広報費	0	0	392,688	0	0	0	0	0	0	0	392,688
	広聴費	0	0	0	0	29,965	29,965	0	0	0	0	59,930
	事務諸費	0	127,187	13,824	119,232	0	0	0	0	0	0	260,243
	その他の経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会派等の支出合計		287,512	850,744	548,440	1,031,793	460,034	598,125	0	0	238,760	0	4,015,408
収支差引額 (市への返還額)		762,579	229,318	171,594	1,128,416	620,037	481,953	360,047	180,023	121,261	360,043	4,415,271

※1 無会派 中村正明議員は、政務活動費の交付申請を行っていないため、掲載されておりません。

※2 フォーラム伊達 佐藤直毅議員は平成27年9月1日付で脱会。

※3 無会派 大條一郎議員は平成27年9月3日付でフォーラム伊達に加入。

【政務活動費使途基準】

研修費	研修会・講演会の開催に要する会場費、講師謝金等の経費又は研修会・講演会の参加に要する会費、旅費等の経費
調査研究費	先進地調査又は現地調査に要する旅費、調査委託に要する経費
要請・陳情活動費	要請・陳情を行うために要する旅費、印刷製本費等
会議費	会派等が行う会議の開催に要する会場費、他の団体が開催する意見交換会等会議の参加に要する会費、旅費等の経費
資料作成費	会派等が行う活動に必要な資料の作成に要する印刷費、写真代、消耗品等の経費
資料購入費	会派等が行う活動に必要な新聞、図書、雑誌等の購入費
広報費	調査研究活動・議会活動及び市の施策等の広報活動に要する印刷費、会場費等の経費
広聴費	市民からの市政に対する要望・意見を聴取するための会議開催に要する会場費、資料印刷費等の経費
事務諸費	パソコン等の事務機器リース・購入、事務消耗品等の購入、通信等に要する事務経費
その他経費	上記以外で会派等が行う活動に必要な経費

独眼流

若者に雇用の機会を

伊達市霊山町 森久保 操



私を含め、高齢化が急速に進んでいる。農業の若手後継者不足で、近年休耕地が目立ってきた。私が伊達市に移住した四十年前には見られなかった光景だ。

商店街も同様、シャッターのしまったままの廃業した店が多く見られ、活気が全く無くなってしまった。若い人の働き場は、介護施設と言いたい位で、とても残念。

本来伊達市は「歴史・文化・伝統・自然」に恵まれた地域だと思う。ただ職場が非常に少なく、学校を卒業しても働く機会が限られてしまっている。少し前まで、会社に勤めながら農業をしていた若い人が多くいた。若い人の働く場所、雇用拡大を一刻も早く立ち上げる必要があると思う。幸い市内には光回線が整備されている。たとえば情報系企業の誘致により、ソフトウェアの開発に若い人の雇用を見いだせないだろうか。

長野県上田市には中山間地にコテージ風の社屋で、ゲーム・医療・農業などのソフトを少数で開発している企業団地がある。現在の伊達市との大きな違いは近隣に長野大学、女子短大、工学系短大が設置されていること。

伊達市は開発拠点つくば市・仙台市との間にあり、高速道路で結ばれる。技術系企業と技術系短大等をセットで誘致してはどうだろうか。

また、商店街が衰退したことでさまざまな状況から、食材の宅配や移動販売車を利用している過疎化現象も現実問題となってきた。若い人たちはどのように感じているのだろうか。ショッピングモールのような施設があれば、若者男女がレジャーやウインドーショッピングと楽しめる機会が増え、雇用の拡大にも繋がると思う。若者が安心して働き、高齢者と共栄できるそんな伊達市を期待する。

議員7人が表彰を受賞

全国市議会議長会

5月31日、東京国際フォーラムで開催された第92回全国市議会議長会総会において表彰が行われ、地方自治の発展に寄与した功労により本市では議員7人が表彰され、6月定例会初日、表彰状の伝達が行われました。

議員在職15年以上

滝澤 福吉 議員

(保原町議9年10カ月、伊達市議10年4カ月)

松本 善平 議員

(梁川町議9年10カ月、伊達市議10年4カ月)

八巻 善一 議員

(梁川町議9年10カ月、伊達市議10年4カ月)

清野 公治 議員

(保原町議9年10カ月、伊達市議10年4カ月)

伊達市議10年4カ月

大橋 良一 議員 (伊達市議10年)

小野 誠滋 議員 (伊達市議10年)

佐々木 彰 議員 (伊達市議10年)

※町議の期間は1/2の期間で加算されます。

議員在職10年以上

大橋 良一 議員 (伊達市議10年)

小野 誠滋 議員 (伊達市議10年)

佐々木 彰 議員 (伊達市議10年)



編集後記

保原高校美術部の生徒の方に制作いただいた、題字のデザイン「ほっとだて」に変え、2回目の発行となりました。あと4作ありますのでご期待ください。

今年の夏はオリンピック、パラリンピックをはじめ、聖光学院が10年連続で出場する全国高校野球選手権大会など感動を生むイベントが開催されます。

伊達市内でも10周年を冠した行事が準備されています。夏の暑さに耐えて体を鍛える、勉強に励むといった夏の取り組みが一年間のなかで最も効果のある時期と言われています。市民が力を出し合い、10周年のイベントを機に多くの人が訪れ、伊達市の成長につながることを願います。

議会広報委員会

- 委員長 菅野 喜明
- 副委員長 近藤 眞一
- 委員 中村 正明
- 委員 大條 一郎
- 委員 佐藤 実
- 委員 佐々木 彰